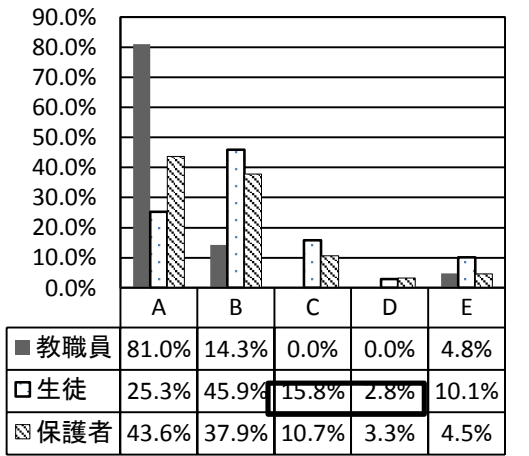


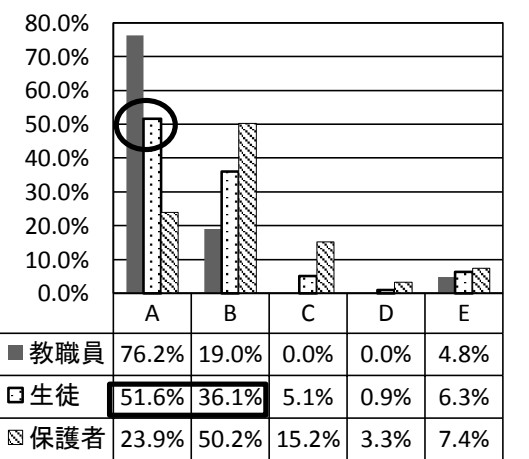
学校教育診断アンケートによる結果・考察(教職員、生徒、保護者)

1	教職員	本校は、挨拶を大切にしようとしている。
	生徒	私は、挨拶をしっかりとっている。
	保護者	学校は、挨拶を大切にしようとしている。



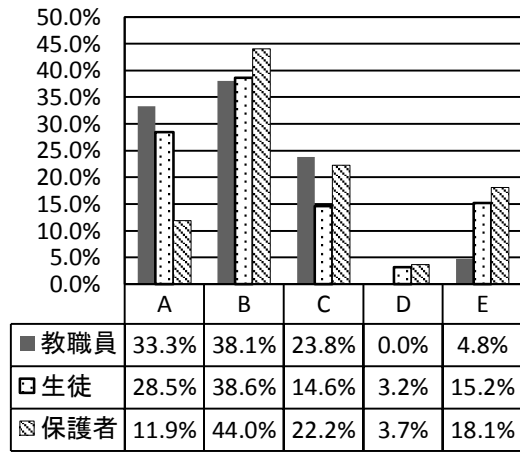
今年度、「あいさつ」について重点的に取り組んだ成果が見られるものの、挨拶ができていない生徒が2割程度いる。もっと「あいさつ」がとびかう学校・地域を目指して行きたい。保護者においても、学校の姿勢に一定の理解が得れていると言える。

3	教職員	本校は、互いに励まし合い、人とのつながりを大切にしている。
	生徒	私は、友達同士互いに励まし合い、人とのつながりを大切にしている。
	保護者	学校は、互いに励まし合い、人とのつながりを大切にしている。



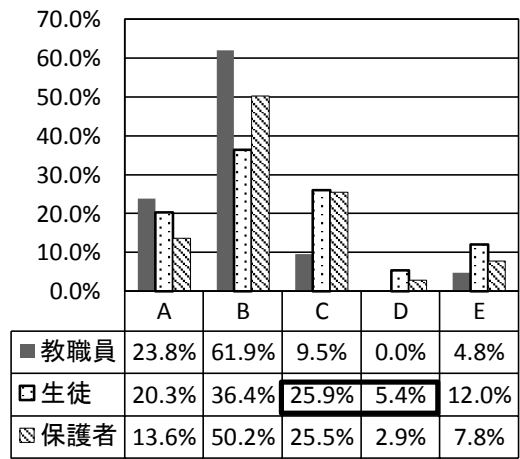
生徒の肯定的回答が9割近くに及び、仲間づくりを意識した教育により、人とのつながりの大切さが子どもたちの中で育まれているといえる。特に強い肯定(A)の回答が5割を超えている点で、子どもたちの成長が感じられる。

2	教職員	本校は、いざという時に備え、緊急対応マニュアルに基づき、自ら危険を回避できる生徒を育てようとしている。
	生徒	自分で自分を守るよう、日頃から注意をし、いざという時には危険からのがれることができる。
	保護者	学校は、自ら危険を回避できる子どもを育てようとしている。



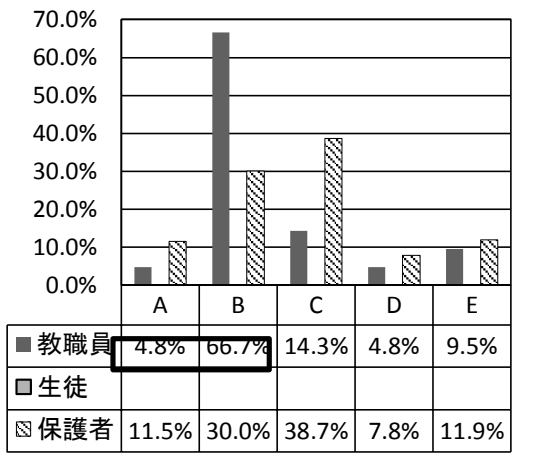
本校では、年2回の避難訓練を実施しているが、日頃より危機管理ができる生徒の育成をさらに進めていく必要がある。

4	教職員	本校は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる生徒を育成しようとしている。
	生徒	私は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる力をもっている。
	保護者	学校は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる子どもを育成しようとしている。



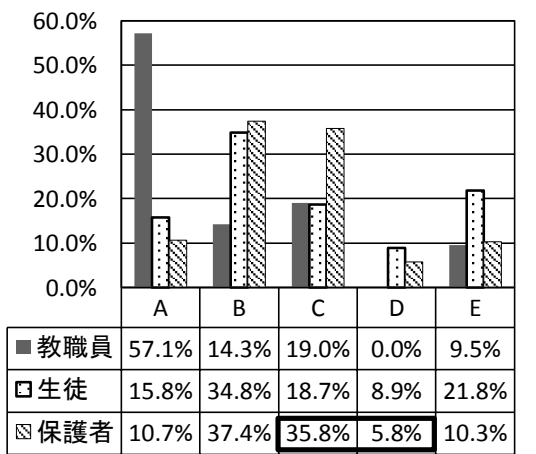
生徒の自立に向けて、まだまだ課題が見られる。教職員が支援すべきことと、子どもたちが自ら取り組むことをしっかりと見極め、生徒の自立を促していきたい。

5	教職員	本校は、特色ある教育活動が行われている。
	生徒	生徒はなし
	保護者	学校は特色ある教育活動を行っている。



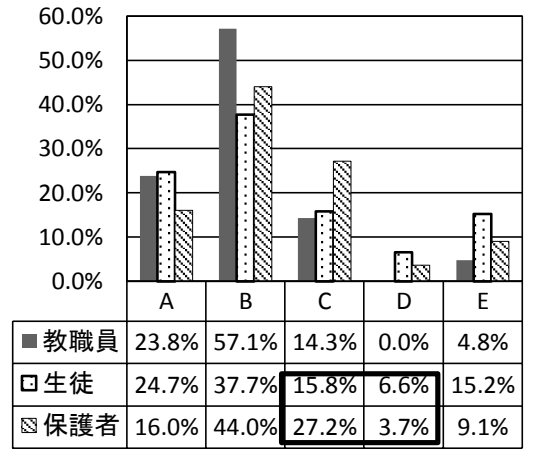
教職員の肯定的回答が21ポイントUPしている。文化祭や体育祭、わくわくするDAYやふれあいワーク、友愛訪問などの行事以外に「あいさつ」の取り組みや学力保障に向けての特徴的な活動が浸透してきているが、保護者への情報発信も必要である。

7	教職員	本校は、学習の進度や内容、生徒の学校での様子等を、通信・ホームページなどによって家庭へ知らせている。
	生徒	堅下北中学校では、学習や活動の進みぐあいや内容、学校での様子が、通信、ホームページなどで家庭によく伝わっている。
	保護者	学習の進度や内容、子どもの学校での様子等を、通信・ホームページなどによってよく知ることができる。



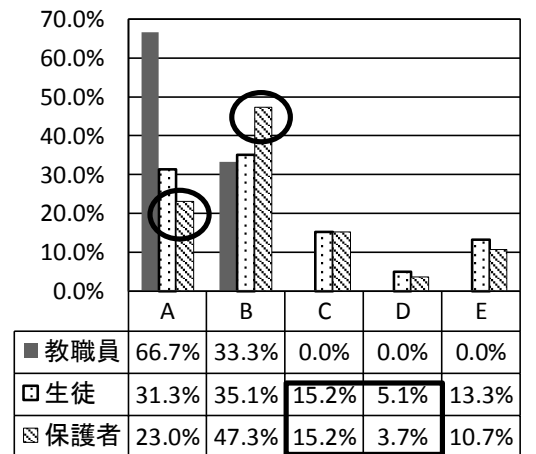
ホームページをリニューアルし情報発信に取り組んできた。また「はなまる連絡帳」も定期的に発信してきたところである。しかしまだまだ保護者に学校の様子が伝わっていないといえる。通信や懇談等でより丁寧な発信を心がけていきたい。

6	教職員	本校は、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる教育が実践されている。
	生徒	堅下北中学校では、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる学習を行っている。
	保護者	学校では、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる教育が実践されている。



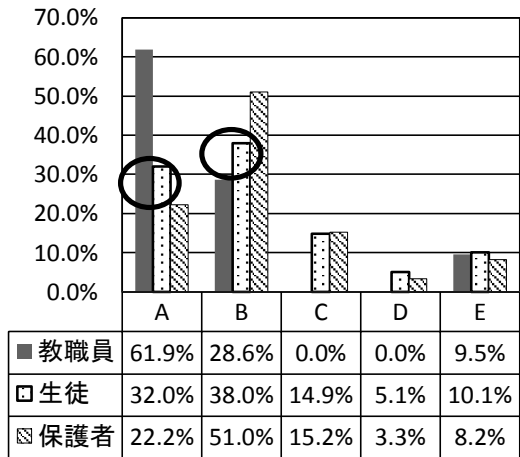
再来年度、道徳が教科化される。道徳授業の充実だけでなく、国際理解教育、同和教育、男女共生教育、LGBTの問題等、子どもたちの人権感覚の醸成に向けて、人権課題の学習がまだまだ必要である。

8	教職員	本校は、生徒のことについて丁寧に相談に応じている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、心配ごとなどについて丁寧に相談に応じてくれる。
	保護者	学校は、子どものことについて丁寧に相談に応じてくれる。



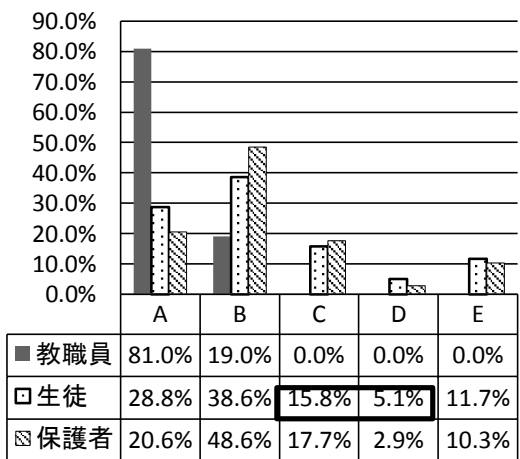
昨年度より生徒、保護者の肯定的な回答が5ポイントほどUPしており、教職員の姿勢が数値として表れてきたといえる。8割以上の肯定的な評価をめざして、子どもたちと向き合っていきたい。

9	教職員	本校は、生徒の能力や努力などの評価を適切にしている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、自分のもっている力や努力したことの評価を適切にしている。
	保護者	学校は、子どもの能力や努力などいいところの評価を適切・公平にしている。



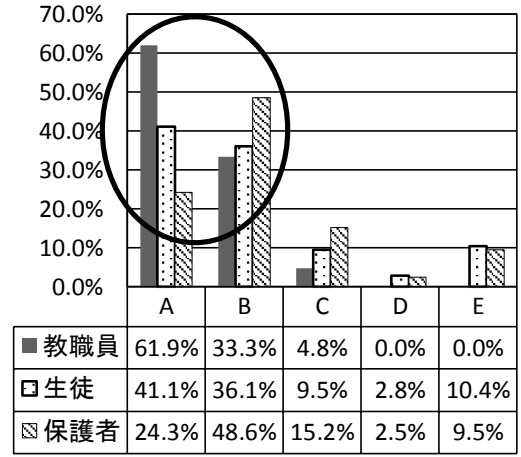
評価に関する設問において、概ね肯定的な回答が多く見られる。昨年度より、生徒の肯定的回答が10ポイントUPしており、本校の評価活動に少しずつ理解が得られてきたと言える。

11	教職員	本校は、いじめや暴力のない学級づくり・学校づくりに取り組んでいる。
	生徒	堅下北中学校では、いじめや暴力のない学級づくり・学校づくりに取り組んでいる。
	保護者	学校はいじめや暴力のない学級づくり・学校づくりに取り組んでいる。



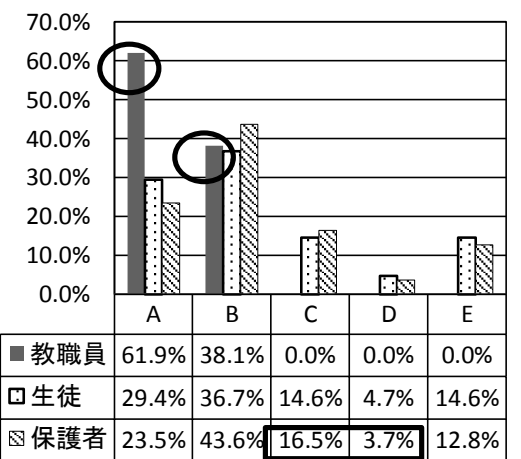
教職員は、いじめや暴力のない学校づくりを強く意識している。「からかい」や「いたずら」などが子どもたちの中では見られるとともに、暴力事象も0ではないことから、否定的な回答も見られる。今後もいじめ・暴力がない学校づくりを目指していきたい。

10	教職員	本校は、生徒のまちがった行動には厳しく対応し、規律を守らせている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、まちがった行動には厳しく対応し、規律を守らせている。
	保護者	学校は、まちがった行動には厳しく対応し、規律を守らせている。



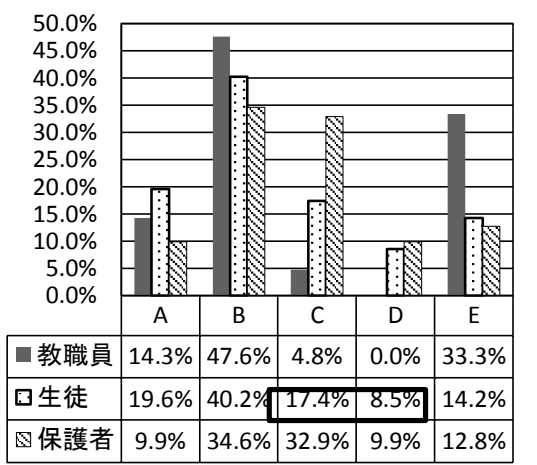
3者ともに肯定的回答が高い数値である。規律を守ることの必要性は誰もが意識していることが見て取れる。今後も引き続き「厳しさの中にも生徒に寄り添う指導」を心がけていきたい。

12	教職員	本校は、教職員が、協力しあって子どもを指導している。
	生徒	堅下北中学校の先生は、協力しあって自分たちを指導している。
	保護者	学校では、先生方が協力しあって子どもを指導している。



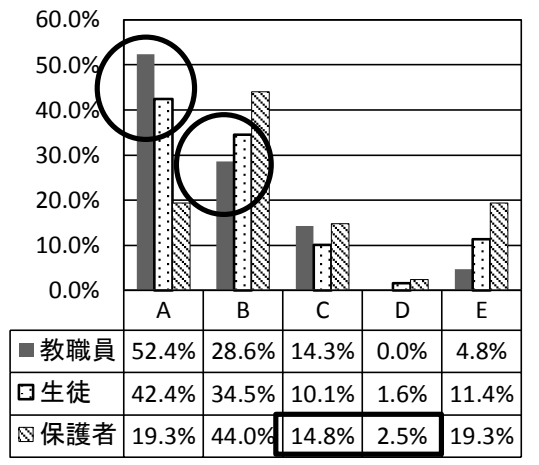
教職員が協力して子どもたちの教育に取り組んでいることが、理解してもらえる結果だと言える。保護者の肯定的回答が昨年より上昇しているものの、なかなか伝わりにくいと言える。

13	教職員	本校の生徒は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。
	生徒	堅下北中学校の授業や活動は、おおむね楽しくわかりやすい。
	保護者	子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている。



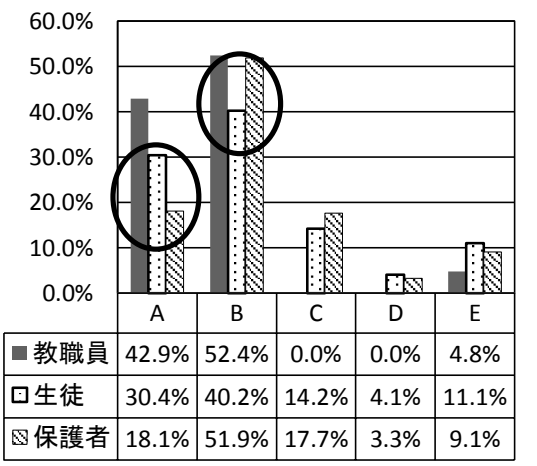
今年度教員間で授業改善に取り組み、3～4人での学習班の導入や「めあて」や「振り返り」の定着で一定の成果が見られた。ただ生徒の3割近くは、授業の理解が不足しており、さらなる授業力の向上に取り組んでいきたい。

14	教職員	本校は、生徒会活動が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。
	生徒	堅下北中学校では、生徒会活動が活発に行われている。
	保護者	学校では、生徒会活動が活発に行われている。



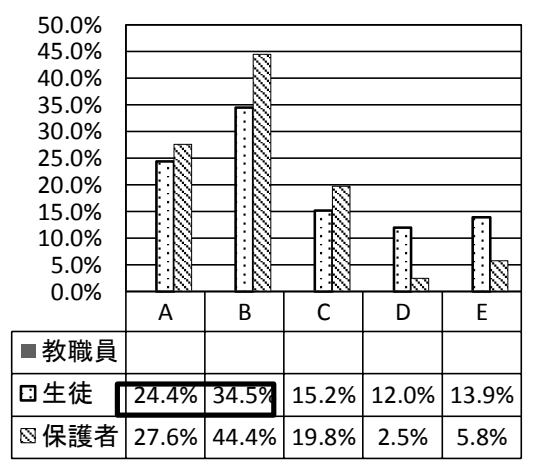
本校で大切にされてきた生徒会活動が、教職員や生徒には定着しているが、保護者には伝えきれていない点が見られる。保護者にも生徒会活動の取組みが伝わるような手立てが必要である。

15	教職員	本校は雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしている。
	生徒	堅下北中学校の雰囲気はよく、みんな生き生きと活動している。
	保護者	学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きとしている。



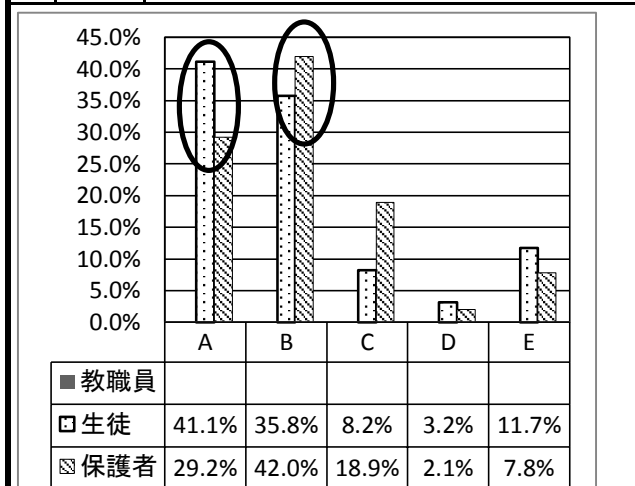
生徒と保護者の肯定的回答が5ポイントUPしており、学校経営方針である「子どもたちがいきいきと活動する学校」に向けて、少しずつではあるが、学校文化が醸成されてきていると言える。

16	教職員	教職員はなし
	生徒	私は、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。
	保護者	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。



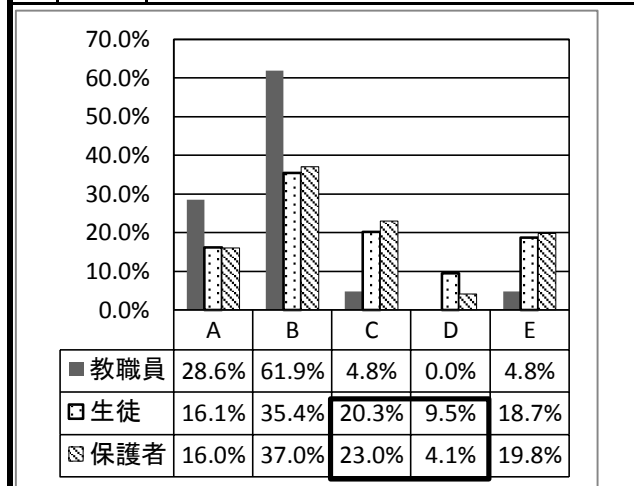
生徒の肯定的回答が、昨年度より減少しており、改善が必要である。子どもたちに寄り添い、一人ひとりの居場所づくりを意識して取り組んでいきたい。

17	教職員	教職員はなし
	生徒	私は、堅下北中学校に友達がたくさんいる。
	保護者	子どもは、学校には友達が多いと言っている。



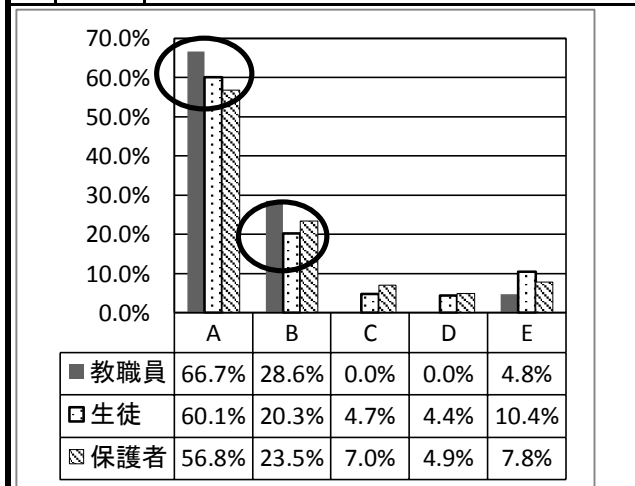
生徒のコミュニケーション能力を高め、たくさんの友達と関係をつくることで、自己の成長につながるよう働きかけを継続させていきたい。

18	教職員	本校は、生徒の不安解消に、さまざまな手立てを講じている
	生徒	堅下北中学校の先生は、いろいろな不安をよく取り除いてくれている。
	保護者	学校は、子どもの不安によく対応してくれている。



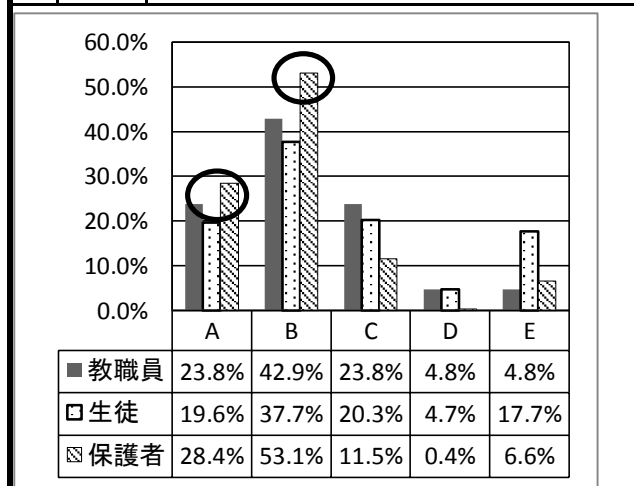
心身ともに変化の多い中学生の時期に、子どもたちに寄り添える教職員集団を意識して、子どもたちの多様な不安に対処していきたい。

19	教職員	本校の生徒は、積極的に部活動に参加している。
	生徒	私は、積極的に課外クラブ活動(部活動)に参加している。
	保護者	子どもは積極的に部活動に参加している。



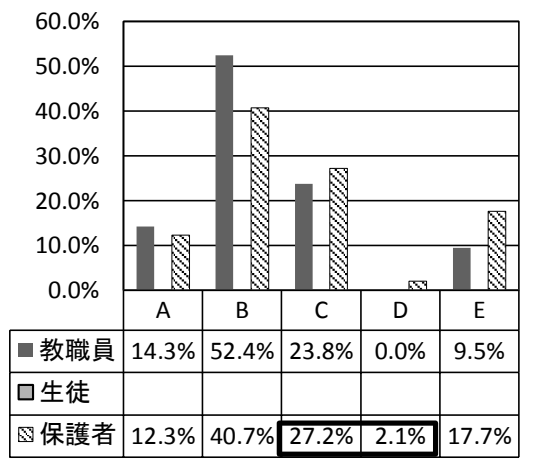
本校の生徒は、部活動に積極的に参加していることがわかる。またそのほかの生徒においても、学校外での活動に参加している生徒も多く、本校の特色であると言える。

20	教職員	本校は、保護者が授業を参観するなどの機会をよく設けている。
	生徒	堅下北中学校は、保護者や地域の人が授業を参観するなどの機会がよくある。
	保護者	学校は、保護者が授業を参観するなどの機会をよく設けている。



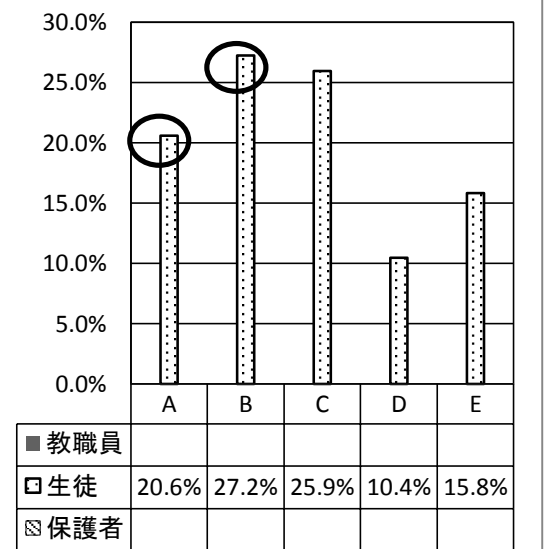
保護者の肯定的回答が昨年度より、11ポイント上がっており、授業参観週間や行事の参観のあり方に一定の評価をいただいたと言える。引き続き、保護者、地域の方々にかかれた学校づくりを進めていきたい。

21	教職員	本校は、保護者や地域の人々と話をする機会を多く設けている。
	生徒	生徒はなし
	保護者	学校は、保護者や地域の人々と話をする機会を多く設けている。



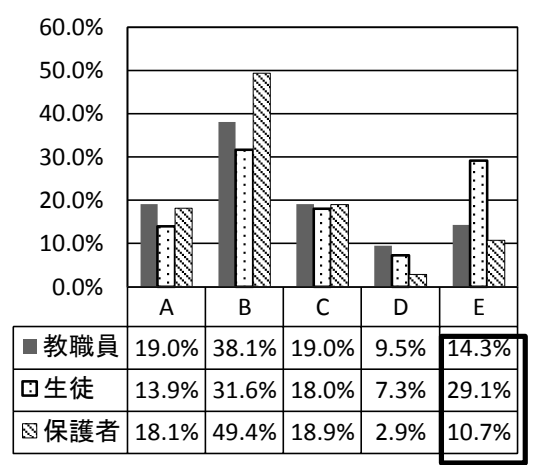
保護者の肯定的回答が低く、学校と保護者と地域が連携して取り組む活動を継続していくことや、懇談等での丁寧な対応を心がけていく必要がある。

23	教職員	教職員はなし
	生徒	小学校で学習した英語が中学校で役立っている。
	保護者	保護者はなし



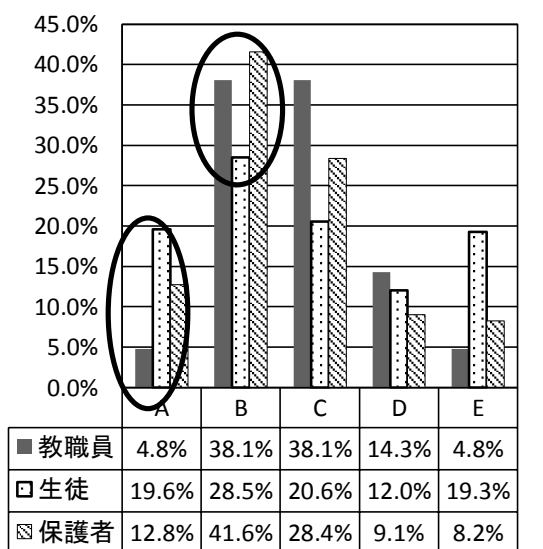
年々、子どもたちの肯定的回答が増えてきている。小学校の英語が教科化されるに伴い、より充実した英語活動が小学校で実施されている。中学校と小学校が連携しながら、小学校英語の教科化に備えていきたい。

22	教職員	本校は小中一貫教育を進めている。
	生徒	堅下北中学校では、小中一貫教育を進めている。
	保護者	学校は、小学校と連携して小中一貫教育を進めている。



中学校教員による、小学校での授業、夏休みのリーダー研修、授業体験等子どもたちの交流だけでなく、教職員の連携においても、合同研修や、研究授業を行っている。小中一貫の成果を、発信していくことで、連携のあり方を見直していきたい。

24	教職員	本校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる。
	生徒	堅下北中学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。
	保護者	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。



新たに学校環境についての設問を導入した。創立42年が経過し、古くなった施設を修理しながらの環境であるが、エアコンが導入されたことで、少し学習環境が整ってきた。教育委員会と連携しながら、施設の充実に努めたい。

A: そう思う B: どちらかというと思う C: あまりそう思わない D: まったく思わない E: どちらともいえない